



# 三次中央会報

ロータリークラブ

2019-2020 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

事務所/広島県三次市十日市東1-18-19  
TEL (0824) 64-1245  
FAX (0824) 64-1245  
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp  
http://mcrs.server-shared.com

例会場/広島県三次市十日市南1-5-5  
グランラッセ三次2F  
例会日/月曜日 12:30~13:30

会長 / 小根森 直子  
幹事 / 井上 幸三

●2019~20年度 国際ロータリーのテーマ



●2019~2020年度 三次中央RCスローガン  
仲間とつながり、  
クラブに更なる輝きを

- 本日のプログラム 職場例会/三次市生涯学習センター
- 次回例会日時 2020年2月10日(月) 12:30~
- 次回プログラム ロータリー情報委員会/過去の奉仕活動

## ■第1288回例会記録

- 日時.....2020年1月27日(月)12:30~
- 点鐘.....会長
- 国歌「君が代」斉唱.....全員
- ロータリーソング「我らの生業」.....全員
- ビジター紹介  
東城RC ガバナー補佐 林 嘉啓会員(観光旅行業)  
東城RC IM実行委員長 谷 壯一郎会員(菓子製造)  
吉舎RC 奥田卓三会員(鋳鉄製造)

■開会挨拶.....小根森会長

## 三次市長、福岡様をお迎えして

皆さん、こんにちは。福岡三次市長様、秘書広報課の松本様、本日はお忙しい中お越し下さいまして誠に有り難うございます。後ほど、御講話をよろしくお願いいたします。

そして、IMの広報で東城ロータリークラブよりガバナー補佐の林様とIM実行委員長の谷様において頂いております。宜しく願い致します。また、ビジターの奥田様、今日はゆっくりして行って下さい。

さて、昨日は広島のYMCAでRLIのセミナーがあり、私と栗本副会長、そしてDLとして来年のガバナー補佐中島論会員の3人で出席させて頂きました。私は今回3回目めでたく卒業となったのですが、終わった瞬間は本当に嬉しかったです。今年一番の喜びでした。辛いと評判のRLIですが、だんだんに皆さんが慣れてきて全体に和やかな雰囲気になってきたように思います。これからは楽しい会になっていくのではないのでしょうか。

ところで今日は福岡市長様を歓迎して花を入れてさせて頂きました。私、高校時代に美術部に入っておりまして未だに同窓生の作品展に出品しており

ます。今日はお正月に袋町で開催された会に今年出品した物を使っています。タイトルを“三次山葡萄のつる、ワインをイメージして”と致しました。この山葡萄は小公子というワインに使われる物と聞いています。蔓は前会員の五反田さんに毎年頂いており、ここ数年は三次のブドウの蔓をテーマに作品を出しております。ブドウの蔓は毎年カットして燃やされるということなので色々利用できれば良いと思います。大量に出ますので学校で子ども達が作品作りに利用してくれるのも良いのではないかと考えております。本日もよろしくお願いいたします。



■小根森会長作

■IMのご案内



谷 壯一郎様 林 嘉啓様

東城RC IM実行委員長 谷 壯一郎

来たる4月26日、IMを開催します。基調講演には西村パストガバナーをお迎えし、「さらに輝きを増すために」という演題で、ご講演いただきます。その後、「ロータリーの未来を語ろう」というテーマで各クラブから1名の意見発表をいただきます。のち、会場を変えまして懇親会を行います。全員登録となっておりますので、是非ともたくさんのご参加をよろしくお願いいたします。

東城RC ガバナー補佐 林 嘉啓

東城のゆうゆうサロンで手作りの料理でお待ちしておりますので、是非おいください。

■幹事報告 井上幸三幹事

- 第2回30周年記念実行委員会を本日7時より、サングリーン第3ビルで開催します。
- 第8回理事役員会を2月3日(月)、7時より味の四季庭ひらたで開催します。
- 先日入会の富野井会員は親睦委員会に所属となります。
- 酒井会員より出席規定免除願いが出されました。
- 次週の職場例会は、生涯学習センターで予定しております。
- 三次RCと吉舎RCの会報を回覧しております。
- 2022～23年度のガバナー候補者の略歴を回覧しております。

■出席報告 大前委員長

- 第1286回 12月23日

会員数	39名	Make-up	2名
欠席	6名	出席合計	35名
欠席者の出席免除	3名	出席率	97.22%

- Make-up…中島諭君、松本君
- 第1288回 本日の出席は38名中35名です。

■職業奉仕委員会 箕田委員長

次週の職場例会は生涯学習センター2階です。「やってみよう体験・体感の福祉学習」という内容で、各種福祉用具の体験をしてみます。よろしくお願いいたします。

■次年度幹事 大井次年度幹事

明日、午後7時より味の四季庭ひらたにおきまして、次年度理事役員会の懇親会を開催します。皆さま、お忘れなきようご参加ください。

■SAA 杉谷SAA

●ピジターニコニコBOXご出宝

東城RC林ガバナー補佐、谷IM実行委員長より、「本日はよろしくお願いいたします」  
吉舎RC奥田様…今年初めてのメーカーキャップです。  
市長とご一緒に。(笑)

●会員ニコニコBOXご出宝

ニコニコBOX本日出宝額 54,000円

今週の短歌

ポインター 小さき光 道開けよ  
若き長(おさ)は「前進」掲ぐ

投稿：和田ひとみ会員

## ■プログラム《市長講演》……………プログラム委員会

毎年恒例の三次市長の新年講話に福岡市長をお迎えしています。広島県で一番若い市長さんで48歳です。今回の卓話をお願いに小根森会長と市長応接室にお伺いしたとき、目に入ったのは壁に掛けてあった大きな三次町を中心に見た「鳥瞰図」でした。鳥瞰図と言うのは、皆さんご存知かもしれませんが、今のように飛行機やヘリコプター、勿論、ドローンも無かった江戸時代の頃から、絵師が想像で鳥のように空高く舞い上がって書いた、今ならGoogle地図のようなものです。三次市は勿論、広島県、遠くは韓国の釜山まで書いてありました。政治も経営も「大所高所」から見ないといけないと言う事だろうと思います。

そう言ったお話が聞けたらと思います。短い時間ですが、福岡市長さんよろしくお願いします。

プログラム委員長 中島 諭



## 令和2年度主要事業について

「ずっと住み続けたいまち みよし」を目指します

三次市長 福岡 誠志



みなさん、こんにちは。本日はお招きいただきまして、ありがとうございました。平素より、お力添えをいただいておりますこと、お礼申し上げます。

限られた時間ではありますが、三次市の方向性などお話しさせていただきます。

去年は、比較的明るいニュースが多かったのではないかと思います。

①県立三次中学校の開校、②もののけミュージアムの開館、③東京オリンピック聖火リレー、④芸備線全線運転再開、⑤合併15周年記念、以上が昨年を振り返ったトピックスです。中でも、聖火リレーは、広島県のスタート地点が三次の妖怪博物館です。

103歳のランナー、富久正二さんや2016年パラリンピック自転車8位の川本翔大さんがランナーに選ばれました。年齢や障害を超えて挑戦し続ける二人が選出されたことにより、スポーツを通して元気なまちづくりを進める三次を国内外に発信する大きなチャンスです。

次に、来年度の事業について紹介します。

まず、やらなければいけないことは、豪雨災害復旧です。引き続きしっかり行ってまいります。

三次市の概況は、平成16年から15%の人口減少、これについては真っ向から対策をしていきます。

財政状況についてですが、合併当時は600億円あった市債（借金）が現在は約500億円に減っております。貯金の部分は、8億円から、150億円にまで増えております。では、大丈夫と思われませんが、しかしながら厳しい状況にあります。

合併から15年間は国から優遇的な交付税措置が受けられましたが、来年度からいよいよ無くなります。貯金を取り崩さなければ、予算が組めないという状況になります。このままではここ5～6年のうちに貯金もなくなってしまうという状況です。

では、何をしなきゃいけないかという事です。

令和2年度のキーワードは、情報発信とデジタル変革です。それに基づき、組織の再編を検討しています。「総務企画部」と「財務部」をまとめて「総務部」とします。そして新しく「経営企画部」を新設し、戦略的な広報を発信してゆく、あるいは情報政策、人工知能などの技術革新を活用して、様々な地域課題の解決に取り組んで行こうというものです。このようなセクションを設けることによって、時代に取り残されないような仕組みを庁内でも作って行こうという組織改革をしているところであります。

そうした中でも三次市がやらなければならないことの一つに、公共施設の合理化があります。公共施設、783施設のうち、10年で1/3に減らすことが目標ですが、4年で削減数は59施設、残り6年で200施設を削減しなければなりません。しっかり地域の皆さんと協議しながら進めていくことが大切です。水道管や橋梁、道路などのインフラは維持管理に大きな費用がかかります。合理的に運営していくために何を優先に大切な税金を使うかということを選択している最中です。

令和2年度の主要事業ですが、ICTなどの活用で生活を豊かにデジタル社会に向けた取り組みの推進。

- 「三次版スマートシティ構想」と掲げておりますが、
- 1 暮らし・仕事を変える (ICTを活用した市民の利便性向上、市役所の業務改善)
  - 2 暮らしを守る (ICTを活用した迅速な防災情報の収集、伝達、共有)
  - 3 元気を創る (データの収集分析に基づく観光や産業施策の推進)

例えば、ピオーネは生産者によって味が違うのですが、AIを利用して誰が作っても同じ美味しいピオーネができるようにするといったことです。

また、「ずっと住み続けたいまち」を目指して、人口減少に歯止めをかけて行きたいと思います。20～34才の特に女性を取り戻すことです。

女性が住んでみたい、帰って来たい、ここに居り

たいと思える魅力あるライフスタイルを提案します。子育てしやすい点や、地域資源を活用した新しい仕事も作れる場所であるということを発信し、定住したくなるような環境整備に取り組んで参ります。

いきなり三次に定住してくれと言っても無理なので、魅力を発信して、知ってもらうことが大事です。

これからは、三次にある資源を使って活性化なり経済振興していこうのが大きなテーマであり、それができるところが地方創生の中で生き残っていけるまちだと思います。

今、三次の中で一つだけ、新たな価値が見出されているところを紹介するならば、作木のカヌー公園です。冬のキャンプが流行っておりまして、人気が高くなっています。まさか寒い冬にキャンプなんて、数年前までは思いもしなかったですが、そういった事に価値を見出し、三次にしかできないことをしっかり先導していきたいと思っておりますので、引き続き皆様のお力を貸してください。よろしくお願ひいたします。

■謝辞.....小根森会長  
■点鐘.....小根森会長



### 聖火ランナーに選ばれた富久正二さん

戦争を体験し、原爆の惨状も経験している富久さん。以下は平成31年4月の新聞記事から抜粋

陸上を始めたのは、97歳の時。100歳を前にしても練習をすれば記録が伸びるのが嬉しかった。来年の東京オリンピックでは日本の陸上選手の活躍に期待する。「令和の時代は、若い人がどんどん新しことに挑戦できる、平和な世の中であってほしい」